

第6学年 社会科学学習指導案

平成27年6月25日（木）2校時

指導者 教育センター所員 浦 貴仁

1 単元名 「3人の武将と天下統一～信長・秀吉・家康～」(東京書籍上P66～P77)

2 単元について

- 本単元は、学習指導要領第5学年の内容(1)オを受け、室町時代の衰退後、全国各地に戦国大名が台頭し、互いに全国統一を目指して戦ってきた群雄割拠の戦国時代にあつて、信長・秀吉・家康の3人が天下統一を果たすまでの業績を捉えさせるものである。具体的には、信長が古い秩序を破壊し、鉄砲、キリスト教、楽市楽座などの新しい考えを取り入れ、統一を推し進めたこと、秀吉がそれを受けて、検地・刀狩など兵農分離政策を中心に行つて国内統一を図つたこと、家康が江戸に幕府を開き、大名統制を工夫し、徳川氏の支配の基礎を固めたことなどを取り扱う。

本単元は、資料等が豊富にそろつており、調べ学習が十分に可能である。3人の武将は児童の興味・関心の高い人物だけに、彼らの生涯を追いながらその生き方や業績に共感できるので、進んで学習に取り組むものとする。小学校の最上級生として日頃から学校のリーダーとしての責任をもつて、学校行事等に意欲的に取り組んでいることから、3人の武将のリーダーシップ、よきリーダー像を考えさせるという意味からも、歴史を学ぶ意義を感じ取らせやすいと考え、本単元を設定した。

- 事前アンケートでは、約8割の児童が「歴史の学習が好き」と答えた。歴史漫画や伝記などを休み時間に好んで読んでいる児童もいる。本単元で取り扱う信長・秀吉・家康の名前についてはクラスの約半分の児童が知っていたが、具体的な業績などについて知っている児童はほぼいなかった。

児童は社会科の時間において討論の経験はないが、毎時間教師の発問に対し、意欲的に教科書や資料集から調べる事柄を探したり、調べた事実から自分の考えを書いたりしている。歴史的事象に関する用語や語句などを使って、学習問題についてまとめながら具体的な知識を獲得することにも少しずつ慣れてきている段階である。このように歴史学習に意欲的に取り組んでいる児童ではあるが、「歴史学習が普段の生活や社会に出て役立つと思うか」の問いについては、約8割の児童が否定的な考えをもっていることも明らかになっている。このことは、国立教育政策研究所が平成27年2月に発表した「小学校学習指導要領実施状況調査」においても、同様の結果が出ており、全国的な傾向であると言える。歴史を学ぶ意義を授業において実感させる手立てが必要であるとする。

- 指導にあたっては、「学習問題をつかむ」過程で、児童の興味・関心を高め、問題意識が持続するように、学習問題Ⅰ「3人の武将はどのようにして戦国の世を統一していったのか」を設定する。そのために、戦国大名の領土の変遷図や長篠合戦図屏風の資料を用いながら、この戦国の世の中を3人はどのようにして統一していったのかという疑問を引き出していく。

「調べる」過程では、信長・秀吉・家康が行つた政策の内容や社会状況の変化、影響を受けた人々を調べさせていく中で、3人の武将が戦国の世の中をどのように統一していったのか考えさせていく。更に、調べて分かつた事実を関連付けて理解させながら、3人の武将の人物像に迫らせるために、政治家としての能力を自分なりの言葉でまとめさせる活動を仕組むこととする。

「考え・まとめる」過程では、これまでの学習を振り返り、学習問題Ⅰについてまとめさせる。その際、「戦国の世を統一するのに誰が最も活躍したのか」考えさせることで、最終的には3人の武将が当時の時代状況に応じた政策をとりながら、少しずつ戦国の世を統一していったことについて考えを深めさせたい。そして、武将を「政治家」として捉え直し、最も人々の幸せを実現した武将は誰か問うことで、学習問題Ⅱ「3人の武将では、誰が一番すぐれた政治家か」を導き出す。学

習問題Ⅱについては討論を通して考えさせ、「人々の幸せ」という視点で、本時までに獲得した知識や技能を活用させ、考えさせるようにする。

単元の終末には、これまでの学習を振り返りながら、自分の考えを書かせる。単元当初の自分の考えと比較させることで、単元を通した考えの深まりを実感させたい。そして、最後に現代におけるすぐれた政治家像について考える場面を設定する。外国との領土問題や安全保障上の問題など山積する現代社会の様相を浮かび上がらせた後、「今の日本で、政治家に必要なのは3人の武将のどんな政治的能力か」と問い掛け、考えさせる。歴史と現代をつなぐように仕組むことで、児童は歴史を学ぶ意義を実感するものとする。

3 単元の目標

キリスト教の伝来から、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まりについて各種の資料を活用して調べ、戦国の世が統一され武士による政治が安定したことが分かるとともに、現代と当時の時代状況から優れた政治家像を考えることができる。

4 評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	観察・資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
<ul style="list-style-type: none"> ○ 3人の武将の業績に興味をもち、それについて意欲的に調べようとしている。 ○ 今の時代に必要な政治的能力について、考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戦国の世が統一されていくまでの経緯についてまとめ、当時と現代の状況を基に、優れた政治家像について考え、言葉などで適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図や年表、その他の資料を活用して、3人の武将の業績を、具体的に調べたり、まとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3人の武将が戦国の世を統一していった経緯、それぞれの武将の政治の様子、外国との関係について理解している。

5 単元計画(全7時間 本時5/7)

過程	主な学習活動	教師の働き掛け(○)	評価(・)評価の観点【】	時配
学習問題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を基に、戦国の世について分かったことを話し合う。 ○調べたいことを基に、学習問題Ⅰをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○3人が生きていた時代を捉えさせるために、「戦国大名分布図」「長篠合戦図屏風」を見せ、争いが多い時代だったことを確認する。 ○学習内容を身近に感じさせるために、佐賀の武将・龍造寺隆信を取り上げる。 ○学習問題設定のために、「戦国大名分布の変遷図」を提示し、疑問や気付きを出させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戦国時代や戦国大名に関心をもち、疑問について意欲的に調べようとしている。【関】 ・資料についての疑問をもとに、学習問題を考え表現している。【思】 	1
3人の武将は、どのようにして戦国の世を統一していったのか。(学習問題Ⅰ)				
調べる	<ul style="list-style-type: none"> ○武将ごとに、人物像や業績を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○武将の政策に係る立場や影響、社会の変化について整理していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武将の業績について調べて必要な情報を集めている。【技】 	

	○3人の武将それぞれについて まとめ、学習問題Ⅰについて 検討する。	○経済政策，人々の支配，キ リスト教対策など政策の違 いが捉えられるように，政 策の目的ごとに整理して板 書をする。 ○武将の人物像にせまること ができるように，政策とそ の結果から分かる政治的能 力を自分なりに表現させて いく。	・それぞれの武将の政治 の様子，外国との関係 について理解してい る。 【知】 ・調べた事実を関連付け て，武将の政治的能力 を自分なりの言葉で表 現している。 【思】	3
考 え ・ ま と め る	○戦国の世を統一するのに，最 も活躍したと思う武将が誰か を考える。 ○考えたことを交流し合い，学 習問題Ⅰについてまとめる。	○学習問題Ⅰの解決のため に，戦国の世を統一するの に最も活躍した武将を考え させる。 ○武将の政策と時代状況の変 化とを関連付けて考えやす いように，「天下もちのう た」を解釈させる。	・3人の武将が戦国の世 を統一していった経緯 について，時代状況の 変化と関連付けて，自 分の考えを言葉などで 適切に表現している。 【思】 ・3人の武将が戦国の世 を統一していった経緯 について理解してい る。 【知】	1 本時 (5/7)
	○学習問題Ⅱをつくる。	○学習の必要性を感じて，学 習問題づくりに取り組める ように，武将を「政治家」 と置き換え，「人々の幸せ」 の視点で考えさせる。	・学習問題Ⅱの解決に 必要な情報を集めて読 み取り，自分の考えを まとめている。 【技】	1
3人の武将の中で，誰が一番すぐれた政治家だろうか。（学習問題Ⅱ）				
	○ 討論を行う。 「3人の武将の中で，誰が一 番すぐれた政治家だろうか」	○歴史的事象に関する知識を 確実に定着させるために， 事実とは異なる内容が話題 になった時は，本当に正し いのか問う。	・「人々の幸せ」の視点 で，3人の武将につい て比較・判断し，自分 の考えを適切に表現し ている。 【思】	1
	○学習問題Ⅱについての自分の 考えを書く。 ○まとめの文を読み直し，これ までの学習を振り返る。 ○今の時代に必要な政治的能力 について考える。	○単元を通した自分の考えの 深まりを実感させるため に，まとめの文をこれまで のノートやワークシートの 記述と比較させる。 ○歴史を学ぶ意義を実感させ るために，新聞記事を提示 し，「今の時代に必要な政 治的能力をもっている武将 は誰？」と問いかける。	・3人の武将が戦国の世 を統一していった経 緯，それぞれの武将の 政治の様子，外国との 関係について理解して いる。 【知】 ・歴史を学ぶ意義を感 じ，これまで学習した ことを活用しようとし ている。 【関】	1

9 本時の評価

評価規準	3人の武将が戦国の世を統一していった経緯について、 時代状況の変化と関連付けて、自分の考えを適切に表現することができるか。 (社会的な思考・判断・表現)		
判断するめやす (判定基準)	十分満足できる状況(A) 3人の武将の業績と社会状況の変化とをそれぞれ関連付けながら、戦国の世が統一されていった経緯について記述したり発言したりしている。	おおむね満足できる状況(B) 3人の武将の業績をそれぞれ関連付けながら、戦国の世が統一されていった経緯について記述したり発言したりしている。	努力を要する状況(C) (B)に達していない記述・発言
→(B),(C) と判断した児童への支援		→武将の政策による社会状況の変化について考えさせる。	→板書を基に、3人の武将の政策によって、少しずつ戦国の世が統一されていったことを確認する。
評価方法	ワークシートの記述，発言の内容		